

## 研究資源共有のための時間情報基盤の構築に向けて

### - 過去の時間はどのように特定されるのか？ -

人間文化研究機構の資源共有事業に代表されるように、情報技術とネットワークの発展は、多様な研究資源を学問分野の枠を超えて探し出し、利用することを可能にしました。これらの研究資源を結び付ける接点として、時間情報がしばしば用いられます。ところが、時間を特定する方法や表現の仕方は研究分野によってまちまちであり、これらをそのまま接点として利用することは難しいのが現状です。多様な研究資源を扱うためには、各研究分野の時間情報の特性を生かしつつ、相互に連携させるための基盤（データ、理論、検索システムなど）が不可欠であり、今後の資源共有化事業の中でも重要な課題です。

そこで今回は、人文科学の諸分野において、時間情報が生成される現場に焦点を当てます。研究資源に関する時間を推定・比定・測定するための材料や手順、得られる時間情報の精度や確度（あいまいさ）さらには、実際の研究現場で起こる課題なども含めてそれらの違いや共通点を確認し、研究資源を共有するための時間情報基盤の構築に向けた課題を抽出します。

○ 日 時 平成30年2月3日（土）13時30分～16時45分（13:00 開場）

○ 会 場 京都大学 稲盛財団記念館3階大会議室（333号室）  
京都市左京区吉田下阿達町46

#### ○ プログラム

全体司会： 国立歴史民俗博物館 後藤 真

13:30～13:35 開会挨拶 人間文化研究機構理事 榎原 雅治

13:35～13:45 趣旨説明 総合地球環境学研究所 関野 樹

13:45～14:15 「日本古代土器編年研究の現在と考古学が扱う時間幅」  
大阪大学埋蔵文化財調査室 中久保 辰夫

14:15～14:45 「資料の年代と炭素14年代法」  
国立歴史民俗博物館・総合研究大学院大学 坂本 稔

14:45～15:15 「日記史料にみる時間表現の情報化」  
東京大学地震研究所・東京大学地震火山史料連携研究機構 片桐 昭彦  
東京大学地震研究所・東京大学地震火山史料連携研究機構 西山 昭仁  
東京大学史料編纂所・東京大学地震火山史料連携研究機構 水野 嶺

15:15～15:45 「コンピュータ上の時間情報と研究資源共有における課題」  
総合地球環境学研究所 関野 樹

- 15:45～16:00 休憩
- 16:00～16:40 パネルディスカッション  
パネラー：関野 樹（司会）、中久保 辰夫、坂本 稔、片桐 昭彦
- 16:40～16:45 閉会挨拶 京都大学東南アジア地域研究研究所 原 正一郎

- 主催 大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 総合情報発信センター  
高度連携情報技術委員会
- 共催 総合地球環境学研究所 研究基盤国際センター 情報基盤部門 第4回情報基盤セミナー  
京都大学 東南アジア地域研究研究所・グローバル情報ネットワーク  
科研費 基盤研究(A)「セマンティック・クロノロジー：時間軸に沿った知識の可視化と利用に向けた基盤構築」
- 連絡先 人間文化研究機構事務局センター事務室情報発信センター係  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門4-3-13 ヒューリック神谷町ビル2階  
(TEL) 03-6402-9234 (FAX) 03-6402-9240 (Mail) [cip-office@nihu.jp](mailto:cip-office@nihu.jp)
- 参加方法 参加ご希望の方は、氏名、所属、e-mail アドレスを [cip-office@nihu.jp](mailto:cip-office@nihu.jp) 宛てにご連絡ください。なお、当日直接会場にお越しいただくことも可能です。参加費は無料です。